

中野駅及び駅周辺整備の検討状況について

1. 検討の経緯

中野駅周辺の交通結節機能に関し、現状や課題及び望ましい将来像を明らかにし、「中野駅周辺まちづくり計画」に反映させるため、平成16年12月に、専門コンサルタントに調査検討を委託するとともに、JR東日本をはじめとして国土交通省、東京地下鉄（株）、東京都、及び中野区を交えた検討会を開催し、整備の方向性を整理した。

2. 委託調査の目的

中野駅周辺まちづくりの検討を行うに際し、中野駅を中心とした都市基盤施設計画に着目し、まちづくりの実現、歩行者ネットワーク及び回遊性の確保、自動車交通の円滑な処理、交通結節機能の強化といった課題に耐え得る駅機能及び駅前広場の将来像を明らかにすることを目的として検討を行った。

3. 交通結節施設の問題・課題

	現状の問題等	主な課題
北口駅前広場	広場が手狭であり、バスのりばの半分以上が中野通り上にある 出入口の間口が大きく交通整理員による交通処理となっている タクシー乗場は設けられていないが、横断歩道付近に滞留している 待ち合わせや休憩等ができる歩行者の溜まり空間が少なく、駅前が雑然として潤いを感じられない	北口バスターミナルの整備 タクシーのりばの確保 潤いある駅前歩行者空間の確保
南口駅前広場	タクシープールが無く、バス降車場に滞留している。そのためバス降客が路上で行われている	タクシープールの確保
中野駅	エレベータ、車いす対応トイレがない、また改札口付近に未解消の段差があるなどバリアフリー化が完全ではない	バリアフリー対応 まちの顔としての駅（象徴性）
歩行者等アクセス	警大跡地開発等により、中野通り西側からの鉄道利用が増えると考えられる 中野通り西側の線路沿い道路（線路南側）は道幅が狭く歩行者空間が確保されていない。線路北側は自転車歩行者専用道路になっているが快適性に欠ける 中野通りの西側の歩道が狭い 駅周辺での放置自転車は、放置禁止区域になっているのであまり見られない	中野通り西側地区の駅利便性、アクセス性の向上策の検討 安全で快適な歩行者アクセス道路の確保

4. 交通結節機能の整備方針

- ・ 北口バスターミナル整備の早期実現を推進する。
- ・ 北口駅前広場に潤いある歩行者広場を整備する。
- ・ 南口駅前広場の改良（タクシーのりば・タクシープール、バス降車場の再配置を検討）
- ・ 駅周辺の回遊性を高めるため南北自由通路の整備や東西連絡通路の整備を検討する。
- ・ 駅施設のバリアフリー化を推進する。
- ・ 各方面からの安全で快適な歩行者アクセス道路を確保する。特に警大跡地開発等中野通り西側での街づくりの状況を考慮し、中野通り西側地区の駅利便性、アクセス性の向上を図る。

5. 交通結節機能の配置方針

- ・ 交通結節機能の強化のため北口バスターミナルを整備し現北口駅前広場を歩行者優先の広場とする。
- ・ 駅と北口バスターミナルとの結節性を確保するため北口東西連絡通路を整備する。
- ・ サンモール・ブロードウェイ地区や中野駅南口地区の既存の駅利便性を確保し、さらに安全で快適な連絡を確保するとともに駅北西側の利便性の向上を図る。
- ・ 既存の高架下駅施設の空間を利用して自由通路・駅施設を高架下に設ける。
- ・ 北口駅前広場を歩行者広場として整備することによって駅前の溜まり空間として有効に活用する（駅改札及び自由通路と同一レベルにある）。
- ・ 中野通りの歩道と南北自由通路の一体化を図ることにより広幅員な歩行者空間を形成する。

6. 中野駅周辺まちづくり計画案への反映

交通結節機能の整備方針及び配置方針にもとづいて、中野駅周辺まちづくりの基本方針、及び地区別まちづくり方針を策定した。

7. 今後の課題

(1) 北口バスターミナル整備の早期実現を推進

○ 北口バスターミナル計画の詳細検討

- ・ 配置する施設内用を決定し、地下駐車場／駐輪場と共に詳細検討を進める必要がある。

○ 北口バスターミナル整備に伴う既存バス停及び路線の再編

- ・ 北口バスターミナル整備にあたって、北口バスターミナル内に「のりば」を設けるバス路線の選定が必要である。
- ・ 現在の北口駅前広場及び中野通り鉄道高架下にある「のりば」は、北口バスターミナル整備に伴い廃止する予定である。ただし、これらの廃止する「のりば」を単純に北口バスターミナルに移すのではなく、南口駅前広場や中野サンプラザ前の「のりば」も含めた中野駅全体で検討する。
- ・ また、「のりば」だけでなく一部路線の変更が伴う可能性もあることから、バス事業者と十分な事前協議を行い、既存バス停及び路線の再編を行う必要がある。

○ 北口バスターミナル整備に伴う北口・南口駅前広場改良計画の詳細検討

- ・ 北口バスターミナル整備後、北口・南口駅前広場の改良が必要となることが考えられる。
- ・ 北口駅前広場は、歩行者系の広場として整備することが妥当であり、南口駅前広場は配置する施設によっては、拡張が必要となる可能性もある。
- ・ したがって、北口バスターミナル計画の詳細検討と同時並行で北口・南口駅前広場の改良計画の詳細検討を進めることが必要である。

○ 南北自由通路、東西連絡通路等の計画及び調整

- ・ 南北自由通路及び東西連絡通路は、北口バスターミナル整備の早期実現に欠く事が出来ない施設である。
- ・ したがって、北口バスターミナル計画の詳細検討を進めるにあたっては、鉄道事業者との協議調整を進め、南北自由通路や東西連絡通路及び駅施設の配置に関する整備の基本方針に関して合意形成を図る必要がある。

(2) 南西地区のまちづくりの推進

○ 安全で快適な歩行者アクセス空間の確保

- ・ 現在、中野通り西側の線路（南側）沿いの道路は、歩道が無い。また、中野通り西側の歩道も東側と比べて狭い場所がある。
- ・ しかしながら、沿道には既に建物が立地しており、単純に歩道の新設や拡幅整備ができる状況ではない。また、用地買収による道路単独整備は困難であり、再開発等による南西地区における街づくりと一体となった歩行者空間の確保が必要である。

○ 南北自由通路及び南口東西連絡通路の設置スペースの確保

- ・ 南北自由通路を中野通り西側に設置する場合、自由通路の南側の足場（階段スペース）確保が必要であるが、前述のとおり線路沿いの道路には歩道がなく、また、道路反対側にも建物が立地しており、適当な足場の確保が困難である。
- ・ したがって、歩行者アクセス空間の確保と同様に、南北自由通路及び南口東西連絡通路の設置スペースの確保を、南西地区の街づくりと一体的に行う必要がある。

(3) 駅施設計画の詳細検討及び東京都・鉄道事業者等との協議・調整

○ 自由通路・駅舎位置等の詳細検討と設置位置の確定

- ・ 前述したとおり、駅施設は、北口バスターミナル整備の早期実現に欠く事が出来ない施設である。
- ・ 自由通路・駅舎位置等の詳細検討と設置位置について、北口バスターミナル計画の詳細検討の初期段階で、確定しておく必要がある。

○ 事業スケジュールの明確化及び実施に向けた東京都・鉄道事業者等との協議調整

- ・ 自由通路・駅舎位置等の詳細検討と設置位置の確定後は、各施設の事業スケジュールを明確化し、役割分担や費用負担等実施に向けた鉄道事業者との協議調整が必要である。

平成 17 年 (2005 年) 4 月 11 日
 中野駅周辺・警察大学校等跡地整備特別委員会資料
 都市整備部警察大学校等跡地整備担当

中野駅及び駅周辺整備構想検討会の検討状況について

回	期 日	出席者	検 討 内 容
第 1 回	平成 17 年 2 月 8 日 午後 1:00～ 午後 3:00	財団法人計量計画研究所常務理事 財団法人東京都道路公社常務理事 国土交通省都市・地域整備局街路課企画専門官代理 同 鉄道局都市鉄道課開発推進調整官 東京都都市整備局都市基盤部交通企画課交通施設担当係長 同 建設局道路建設部計画課長 同 建設局第三建設事務所工事第一課長 東日本旅客鉄道株式会社総合企画本部投資計画部担当部長 同 東京支社企画部長 東京地下鉄株式会社鉄道本部計画管理部長 中野区区長室まちづくり総合調整担当部長 同 都市整備部長 同 都市整備部中野駅周整備担当課長	1. 中野駅及び周辺の現状について (1) 中野駅の現状(現況)について (2) 中野駅の利用者について (3) 中野駅周辺の現状(現況)について (4) 警察大学校跡地について 2. 中野駅周辺まちづくり計画(検討)素案について
第 2 回	平成 17 年 3 月 10 日 午後 6:30～ 午後 9:00	財団法人計量計画研究所常務理事 財団法人東京都道路公社常務理事 国土交通省都市・地域整備局街路課企画専門官 東日本旅客鉄道株式会社東京支社企画部長代理 東京地下鉄株式会社鉄道本部計画管理部長 中野区区長室まちづくり総合調整担当部長 同 都市整備部長 同 都市整備部中野駅周整備担当課長	1. 駅整備の先進事例について (1) JR 東海道本線横浜駅(神奈川県横浜市) (2) JR 山手線大塚駅(東京都豊島区) (3) JR 山手線大崎駅(東京都品川区) (4) JR 中央線立川駅(東京都立川市) (5) JR 東北本線上野駅(東京都台東区) 2. 中野駅及び周辺地域の現状と課題整理について (1) 北口、南口駅前広場 (2) 歩行者等アクセス (3) 交通結節点の問題・課題